

2000年7月16日(日)

報道関係各位

2000 NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦  
2000 ITUトライアスロン・ワールドカップ東京港大会  
シドニー・オリンピック日本代表壮行試合

レース速報

開催地：臨海副都心トライアスロン特設会場

開催日：2000年7月16日(日)

主催：2000 ITUトライアスロン・ワールドカップ東京港大会実行委員会

(東京新聞・東京中日スポーツ、(社)日本トライアスロン連合、東京都トライアスロン連合)

公認：国際トライアスロン連合 (ITU)

特別協賛：NTT東日本

優勝は男子がクリス・ヒル、女子がリナ・ヒル

NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦、2000 ITUトライアスロン・ワールドカップ東京港大会が7月16日(日)東京都港区台場の臨海副都心トライアスロン特設会場で行われた。東京で初めて行われたITUワールドカップであり、シドニー・オリンピックを2ヶ月後に控えていることもあり、最終調整をかねて世界各国より男女有力選手34名が出場し、白熱したレースが展開された。

男子のレースを制したのは、終始レースをリードしてきたクリス・ヒル(AUS)。2位には、マイルス・スチュアート(AUS)が入り、オーストラリア勢がワンツーフィニッシュを飾った。3位にはクリス・ゲメル(NZL)が入り、日本人最高は5位に入った西内洋行(チームテイケイ)だった。

引き続き行われた女子は、ベテラン、リナ・ヒル(NZL)が貫禄の優勝。2位には99年日本選手権覇者の小梅川雪絵(チームテイケイ)が4月のITUワールドカップ石垣島大会の細谷はるな(ニデック)と同じく日本人最高位でフィニッシュ。3位にはスペインの新鋭、ピラルル・イダルゴが入った。その他日本勢は、中西真知子(チームNTT東日本)が4位に入る健闘。シドニー・オリンピック日本人選手代表の平尾明子(NTT東日本・NTT西日本)は6位という内容だった。

### 【男子】クリス・ヒル、灼熱の東京を制す！

お台場海浜公園を2周回するスイムをトップでフィニッシュしたのは、ヒル、西内を含む約20人。バイクに入ると先頭集団は15人に形成され、小原工（チームテイケイ）、福井英郎（シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー）の日本代表も集団の中心に位置し、レースは展開された。プレント・フォスター（NZL）がバイクを後続に3.4秒差をつけてフィニッシュしたが、ランに入るとヒルとスチュアートの一騎打ちとなった。

灼熱の中、ラン勝負を制したヒルが1時間48分23秒で見事優勝を飾り、2位には同じくオーストラリアのスチュアートが入った。注目の日本人選手は、西内の5位が最高で、7位に小原、11位に菊地次郎（山形大学）が入る結果だった。西内、小原につぐシドニー・オリンピック日本代表の福井は15位に終わった。

優勝したヒルは、「ワールドカップで初優勝できたことが一番うれしい。暑い中でのレースは嫌いではないので、この結果が出てよかった」とコメントした。また、日本人最高の5位に入った西内は「応援してくれる人達のためにも頑張ろうと思った。表彰台に上がれなかったことは悔しいが、結果には満足しています」と語った。

### 【女子】ベテラン、リナ・ヒル、貫禄の優勝！

シドニー・オリンピック日本代表の細谷、庭田清美（シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー）が欠場し、10名でのスタートとなった女子は、イダルゴ、ピップ・テイラー（AUS）がトップでスイムをフィニッシュ。15秒遅れで中西、ヒル、小梅川が追う展開となった。バイクに入ると4週目に後続の3選手が先頭に追いつき、そのまま5人でバイクをフィニッシュし、優勝争いは最後のラン勝負になった。小梅川、イダルゴが引っ張る展開となったランだが、2週目にヒルが2人を抜き去りトップへ。そのまま2時間03分03秒のタイムで優勝した。「とても暑かったが、コースがきれいで楽しんでレースが出来た結果だと思う」と喜びのコメントを残した。

2位には97年の蒲郡大会での庭田、そして今年4月の石垣島大会での細谷につぐ、ITUワールドカップ日本人選手最高順位で小梅川が入った。「体調も万全ではなく、後半バテたが、観客の声援でこの結果を残せたと思う」と語り、表彰台での笑顔が印象的だった。

他の日本人選手では、中西が4位に入り、シドニー・オリンピック日本代表の平尾はスイムでの遅れが最後までひびき、6位に終わった。

男子トップ10

順位	レース	氏名	年齢	タイム	所属
1	3	クリス・ヒル	24	1時間48分23秒	オーストラリア
2	4	マイルス・スチュアート	29	1時間48分57秒	オーストラリア
3	15	クリス・ゲメル	23	1時間49分34秒	ニュージーランド
4	1	グレッグ・ベネット	28	1時間49分44秒	オーストラリア
5	14	西内 洋行	24	1時間49分54秒	チームテイケイ
6	11	マーク・リー	28	1時間50分13秒	オーストラリア
7	7	小原 工	33	1時間50分32秒	チームテイケイ
8	5	シェン・リード	27	1時間50分52秒	ニュージーランド
9	10	カートニー・アトキンソン	20	1時間51分11秒	オーストラリア
10	12	レビ・マクスウェル	22	1時間51分43秒	オーストラリア

女子トップ9

順位	レース	氏名	年齢	タイム	所属
1	2	リナ・ヒル	31	2時間03分03秒	ニュージーランド
2	10	小梅川 雪絵	30	2時間03分18秒	チームテイケイ
3	15	ピラール・イダルゴ	21	2時間03分32秒	スペイン
4	8	中西 真知子	23	2時間04分19秒	チームNTT東日本
5	12	ピップ・テイラー	20	2時間05分23秒	オーストラリア
6	7	平尾 明子	24	2時間05分49秒	NTT東日本・NTT西日本
7	11	枇杷田 深雪	21	2時間09分03秒	ニデック
8	17	中川 絵里	19	2時間10分21秒	愛知県協会
9	13	大松 沙央里	18	2時間14分07秒	日本女子体育大学

【JTUジャパンランキング】

男子QF係数：1.76

順位	獲得ポイント	氏名	所属
1	497	西内 洋行	チームテイケイ
2	401	小原 工	チームテイケイ
3	293	竹内 鉄平	アラコ
4	289	福井 英郎	シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー
5	259	菊地 次郎	山形大学
6	193	鈴木 隼人	東京都連合
7	179	中込 英夫	ニデック
8	148	斎藤 大輝	アラコ
9	72	益田 大貴	NITOH TEAM KEN'S A&A
10	53	須藤 和男	千葉県連合
11	49	山本 淳一	チームNTT東日本
12	42	吉越 慎吾	チームINAGE・グリーンタワー
13	36	仁井 晶一	日本食研
14	33	宮田 俊介	亜細亜大学
15	32	マイケル・トリーズ	チームテイケイ
15	16	渡邊 明	アラコ
17	8	稲谷 将太	大阪産業大学付属高校
17	8	児玉 誠治	流通科学大学

女子QF係数：1.58

順位	獲得ポイント	氏名	所属
1	501	細谷 はるな	ニデック
2	404	小梅川 雪絵	チームテイケイ
3	393	中西 真知子	チームNTT東日本
4	312	平尾 明子	NTT東日本・NTT西日本
5	206	大河原 浩美	アラコ
6	203	枇杷田 深雪	ニデック
7	190	庭田 清美	シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー
8	118	中川 絵里	愛知県協会
9	68	大松 沙央里	日本女子体育大学
9	44	井上 由佳子	日本体育大学研究員
11	29	宮崎 康子	NITOH TEAM KEN'S A&A
12	22	土屋 磨実	Ket's
13	15	野中 美佐	チームスペシャライズド/鹿児島大学

〔気象状況〕8時現在

天気：晴れ 気温：30.9 水温：25.9 湿度：72.0% 風向・風速 南南西・1.8m

参加選手 34名(男24名・女子10名) 観衆 50,000人

